

<p>【技術の名称】 JP-Pile 工法 -先端翼付き回転貫入ぐい工法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第24-11号 性能証明発効日：2024年10月9日 【取得者】 ジャパンパイル株式会社</p>
--	--

【技術の概要】

本技術は、鋼管の先端に、掘削刃と角度を設けた2枚の半円状の先端翼板を取り付けた鋼管の頭部に回転トルクを与えることにより地盤中に回転貫入させ、これをくいとして利用する回転貫入ぐい工法である。

なお、本工法の地盤から定まる押込み方向の許容鉛直支持力については、国土交通大臣の認定：TACP-0689 および一般財団法人日本建築総合試験所の性能評価：GBRC 建評-24-231A-001 を取得しており、この性能証明は、本技術により設計・施工されたくいの地盤から定まる引抜き方向の支持力の評価に関するものである。

【技術開発の趣旨】

本技術は、先端翼径/くい径を2.04~2.43に設定することで適切な引抜き抵抗を確保するとともに、くい先端に掘削刃と2枚の半円状の先端翼を設けることで、貫入性の向上を意図して開発した技術である。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、単ぐいとしての引抜き方向の支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「JP-Pile 工法 設計基準」および「JP-Pile 工法 施工指針」に基づいて設計・施工された先端翼付き鋼管ぐいの短期荷重に対する引抜き方向の許容支持力を定める際に必要な地盤から定まる極限引抜き抵抗力は、同設計基準に定める支持力算定式で適切に評価できる。

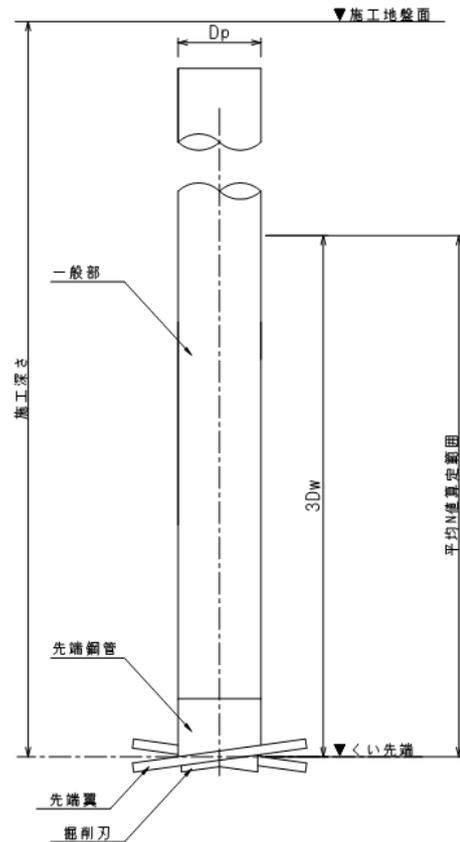
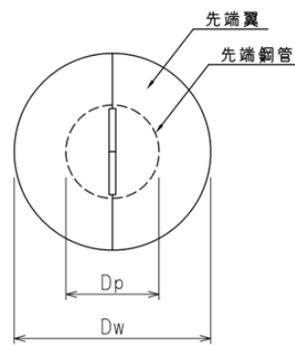


図-1 先端平均 N 値 $\overline{N_t}$ の算定範囲



$$A_{tp} = \pi \left(\frac{D_w^2 - D_p^2}{4} \right)$$

図-2 基礎ぐい先端の有効断面積

【本技術の問合せ先】

ジャパンパイル株式会社 担当者：今 広人
 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 36 番 2 号

E-mail : hirohito_kon@japanpile.co.jp
 TEL : 03-5843-4196 FAX : 03-5651-1905